

浦和麗明高等学校

URAWA REIMEI SENIOR HIGH SCHOOL

*Adapt to
Change!*



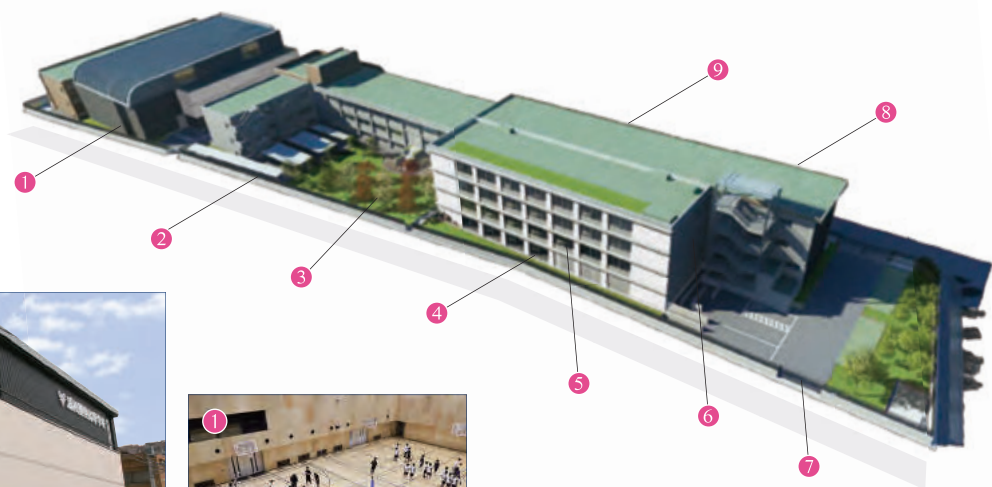
*Adapt to
Change!*



百年生き抜くために

施設紹介

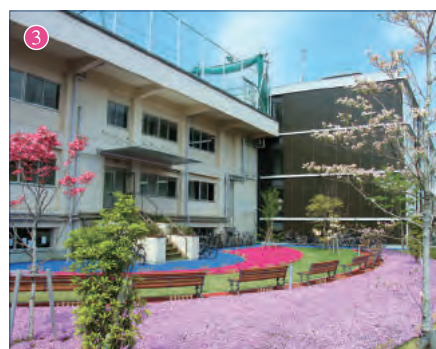
本校は、快適かつ充実した施設・設備により、生徒の個性や能力を存分に引き出す教育環境を整えております。



- 〔体育館〕
- バドミントンコート6面分／バレーボールコート2面分の広さ
 - 高さも11mと十分
 - 入口付近に男女のトイレ、更衣室完備
 - 冷暖房完備。式典・行事も快適



駐輪場



中庭



- 〔校舎〕
- 特選コースなどの少人数クラス用ホームルーム教室
 - 150席の快適なランチルーム
 - 通常教室の1.5倍の広さの理科室



ランチルーム



理科室



自習室



バス乗車場



図書室



エントランス



Adapt to Change!

「変化に適応しよう。百年生き抜くために。」

1 変化に適応する力を養う

Intelligence is ability to adapt to change.
「知性とは変化に適応する能力のことだ」

これは世界的に有名な物理学者であるホーキング博士の言葉です。生物は環境の変化に対応したものが生き延びてきました。諸説ありますが、生態系の頂点に君臨していた恐竜でさえも、環境の変化に対応できずに絶滅したと言われています。また、生物だけでなく、国家・企業・歴史的人物なども時代の変化に適応してきたものが最終的には生き延びています。

3 百年生き抜く力を

年金を頼りにできないのであれば、「現役時代に退職後の生活費も稼ぐ」か「退職する年齢を遅らせる」のいずれかの対応策が必要となります。どちらの場合も「人より優れた何らかのスキル」が求められます。そのためには、「学生時代に十分な準備をすること」と「働きながらもスキルアップを目指す」ことが不可欠で、それらがおよそ百年、充実した人生を送る土台となるはずです。

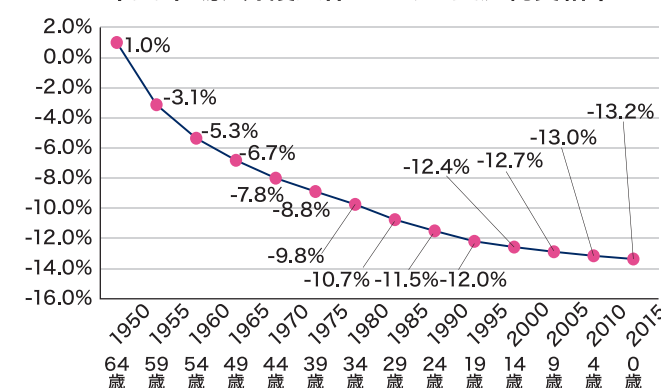
4 想像を絶する22世紀の社会

21世紀の始まりに生まれた皆さんは、かなりの確率で22世紀の入り口付近まで生きることでしょう。22世紀がどのような世の中になっているかは誰も予測することができません。しかし、人類の技術の発展を考えると、時代が進むにつれて変化の速度が速くなっていくのは間違いありません。1900年に生まれた人々からすると21世紀は想像を絶する世の中になったのと同様、皆さんにとって22世紀は想像を絶する世の中となるはずです。

2 少子高齢化問題

医療の発達のお陰で長寿になったことは素晴らしいことですが、長寿が原因で起こる問題もあります。その一つが少子高齢化問題です。若い世代が少なく高齢者が多いため、年金・医療などの社会保障制度の運用が今後ますます深刻な問題になると予想されています。「定年まで働いて、退職後は年金で暮らしていく」という今までの働き方の概念も変化するかもしれません。

年金・医療・介護全体における生涯純受給率



出所：内閣府「社会保障を通じた世代別の受益と負担」
※グラフから、若い年代になればなるほど、生涯純需給率が低くなることが分かります。例えば、2000年生まれ世代は納めた額よりも12.4%少ない分しか需給されません。

5 進むグローバル化社会

社会がますますグローバル化し、海外で仕事をする日本人や、日本を労働や観光で訪問する外国人が増えることも予想されます。その際にコミュニケーション能力が必要とされますが、言語は一つのツールにすぎません。それよりも、他国の文化や考え方を理解する力が重要になってきます。もちろん「言語も堪能で相手を理解する力も優れている」のは理想的ですが、「言語は堪能だが相手を理解する力が乏しい」よりは「言語は多少拙くても相手を理解する力が優れている」ほうがずっと良いはずです。したがって、語学力を伸ばすと同時に、相手を理解する力を養ってほしいと願っています。

本校では

皆さんの人生が実りあるものとなるよう、心も頭も柔軟な若い時から、変化に適応する力を養いましょう。本校での学習・クラブ活動・行事などの様々な取り組みを通して、皆さんが論理的思考能力やコミュニケーション能力を伸ばすことを期待しております。



左脳と右脳を鍛える

AI時代に重要な右脳の働き

(1) 左脳と右脳を鍛える

諸説ありますが人間の脳は左脳と右脳に分かれていて、それぞれ働きが異なると言われています。

左脳は読み・書き・計算など、言語・文字の認識や、数理的推理、論理的思考などを担当し、「ものごとを細かく分けることが得意である」と一般的に言われています。

それに対して右脳は、図形や映像の認識、イメージ、直感やひらめきなどを司ると言われています。「芸術脳」と呼ばれることもあり、もののデザイン・物語を創り上げること・感情的に人と共感することに使われます。左脳とは逆に「ものごとを全体的に見渡すこと」や「ものごとを統合すること」を得意としています。

(2) 時代の変化

技術の変化によって、世の中は大きく変化してきましたし、今後も変化していくことが予想されます。

産業革命による機械化で、農場や工場での大量生産が可能となり、人類は物質的には恵まれることとなりました。その際に重要視されていたのは、強靱な身体と不屈の精神でした。

その後、コンピューターやインターネットの発達により、世の中は「工業の時代」から「情報の時代」へと変化していきます。工業の中心であった「モノ」から、「情報や知識」が先進国の経済を引っ張っていく中

問題解決における左脳と右脳の使い方

(1) 情報収集の段階(右脳中心)

何か問題を解決する際、まずは「何となくこれが問題である」と気づくことから始まるものです。もちろん最初から何か数理的なデータが示されることもあります。が、「まずは今までの経験・勘から、何かがおかしい」と気づくことが多く、その際には右脳が大きな働きをします。問題意識を元に、情報の収集や仮説づくりなどの作業が行われます。

(2) 分析・検討の段階(左脳中心)

次の段階ではインプットした情報に基づいて、問題点を特定して解決策を考えていきます。仮説が正しいかどうかを検証を検証したり、場合によっては複数の解決策を作成することもあります。そのような過程においては検討・分析を得意とする左脳が主に活躍します。

本校での教育活動

(1) 左脳を鍛えるには

大学入試に対応するために、主要五教科を学習することで、左脳の活動分野である知識や数的処理に関する土台をつくることができます。同時に自分で「計画⇒実行⇒反省⇒計画⇒実行・・・」と自己分析をしていく過程で問題解決能力を身に着けることもできるでしょう。

「インターネットでいくらでも知識を探すことはできるのだから、知識を身に着けても無駄だ。」という意見がありますが、それは全くの間違いです。もちろん知識よりも「知識の運用」が今後重要になってきますが、ある程度の知識がないと、何もできません。例えば、難しい大学入試の数学の問題を解くとした場合、知識がないとインターネットを駆使しても解けないのと同じです。

左脳を鍛える(P4～14)

》五教科教育活動

- 大学入試に対応する学力自体の育成
- 学力を伸ばす過程において「計画⇒実行⇒反省」を繰り返す

》伸ばしたい力

- 言語能力
- 数理的推測力
- 論理的思考能力

心となったのです。そして現在では人件費などの面から、東南アジアなどの新興国にもものづくりだけでなくIT関連の仕事も移りつつあり、更に2050年頃にはアフリカ諸国へ移っていくことが予想されています。

(3) AI時代に求められる力とは

そして、次なるステージである「AI の時代」へと現代社会は移行しています。世の中が益々便利になる反面、「AI 失業」という言葉が登場してくるほど、AIとロボットが人間の仕事を奪ってしまうと言われています。そのような仕事は主に、数理的推理や論理的思考を必要とする、つまり「左脳を使う仕事」と言い換えることができます。AIが発達する時代には、「AIが苦手な分野」の仕事をするのが重要です。「AIが苦手な分野」とは、①創造力を必要とすること、②思いやりの心を持つこと、③マネジメント(組織の維持・発展を図る)すること、などで、これらは「右脳を使う仕事」と言うことができます。

大量生産により同じようなものが溢れ、様々な仕事が新興国に流れ、AIによって人間の仕事がコンピューターに取って変わられる。そのような時代に重要となる力は、「『機能やコスト』だけではなく『デザイン・付加価値・コンセプト』をいかに表現できるか」、つまり「理屈だけでなく、人の感情に響かせる力」であると予想されます。

もちろん右脳の働きだけが重要と言うわけではなく、以下のように何か問題を解決するには左脳と右脳をバランス良く使うことが重要になります。

(3) 決定・実行の段階(右脳中心)

前の段階で検証された様々な情報を元に、組織内でコミュニケーションを取りながら、意思決定をします。複数の解決策が提案された場合は、どの案を採用するのかを決定していきます。

その際は単なる数字やデータだけが重視されるわけではありません。議論をしていて「理屈は分かるけど、なんとなく納得がいかない」などということはよくあることです。意思決定の際に、感情や人間関係に左右されることもあり、説得するには右脳が重要な働きをします。

また、(1)～(3)の過程においては、「左脳だけ」や「右脳だけ」を使うのではなく、同時に両方を使う場合もあります。

(2) 右脳を鍛えるには

右脳を鍛えるには、1) 答えの決まっていないことを議論する、2) 仲間と協力して目標を達成する、3) 馴染みのないものごとに触れる、など様々な方法があります。

本校では、総合学習・進路学習・クラブ活動等を通じて、今後益々重要になる「右脳を鍛えること」を意識してもらいたいと考えています。大学進学に向けた学習で「左脳を鍛える」ことも重要ですが、バランスよく「左脳も右脳も鍛える」ことで、生徒一人ひとりが「未永く求められる人材」となることを願っています。

右脳を鍛える(P15～21)

》特色教育活動

- 総合的な探究の時間
- 進路学習・高大連携プログラム
- クラブ活動・行事
- 技能4科(体育・芸術・情報・家庭)

》伸ばしたい力

- 創造力
- コミュニケーション能力
- マネジメント力

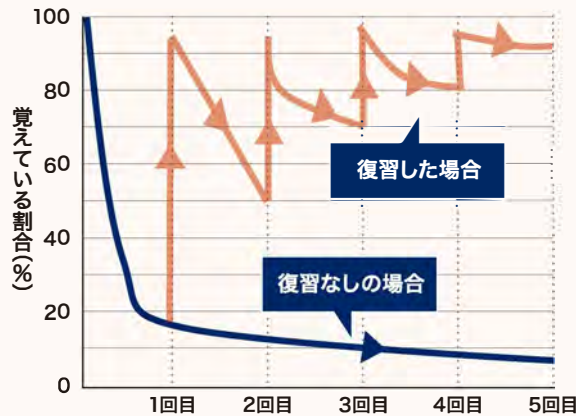


復習の徹底

復習の重要性

どの教科においても、成績を伸ばすために一番重要なのは復習です。人間の脳は容量を節約するため、必要のないことをどんどん忘れていくようにできています。右の「エビングハウスの忘却曲線」によると、単純な記憶の場合、翌日には70%以上忘れてしまうのです。そこで学習の際には、すぐに忘れてしまう単純な記憶である短期記憶から、一定のつながりを持ち、半永久的に保持される長期記憶へと落とし込む必要があります。重要なのは、完全に忘れてしまう前に復習をすることです。先ほどの忘却曲線でも、期間をあげずに復習することによって、学習内容を忘れてしまうことを避けられることが示されています。さらに、復習の回数を多くこなしていくことで、学習した内容を100% 記憶できるようになっていくのです。

《 エビングハウスの忘却曲線 》



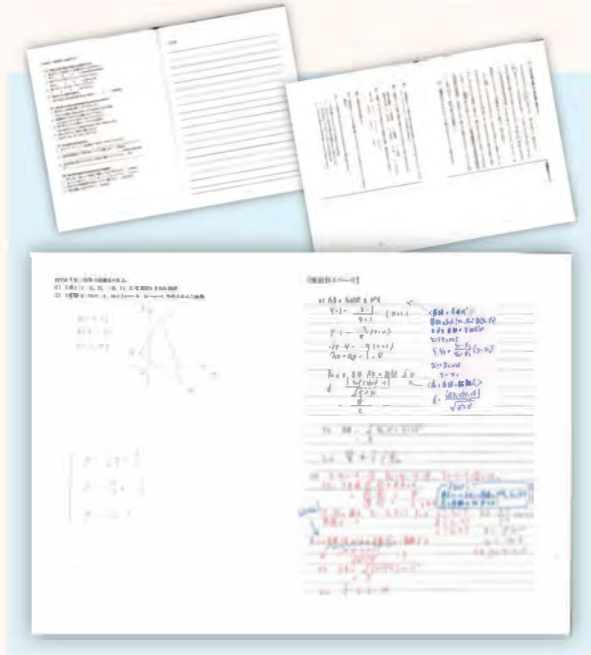
定期試験の活用

高校であればどこでも定期試験があり、生徒の学習到達度を確認しています。これによって成績がつけられ、推薦基準等にも影響してくるので、とにかく定期試験で得点するために勉強している高校生は多いでしょう。しかし本校では、大学入試に対応できる実力をつけることを最終目標としており、定期試験もそのための一つの手段にすぎません。

先述の通り、記憶の定着には復習が必要であり、復習の回数を確保することが重要です。そこで本校では、定期試験を復習の回数確保に活用しています。

まず英・数・国の主要教科においては、定期試験までの中間地点で学習内容の復習テストを実施します。これは、試験期間までに時間が空くことで、個々の復習がおろそかになることを防ぐためです。

次に定期試験です。定期試験自体は、それまでの学習内容の確認をするという意味で一般的なものですが、本校の定期試験は受け終わった後こそが本番です。各教科の定期試験の冊子自体がすでに復習用に来上がついています。生徒が間違ったところ、理解の曖昧なところ、さらに応用的な問題につなげるためのポイントなどを徹底的に復習させます。



通常授業

復習テスト

定期テスト

定期テスト復習

模試の復習

模擬試験は、受験するけれども受けっぱなしで、結果だけを見て終わりという学校がほとんどです。しかし、模試も受けた後の復習こそ重要と本校では考えています。

模試は定期試験に比べて範囲が広く、分野横断型の応用問題が出題されます。教科書の別々の部分で扱った内容を関連させて解く必要があり、定期テストとは違った頭の使い方をします。そのため各自で復習することは難しいのですが、教科担当が授業で復習冊子を用意し、それを活用することで徹底的に復習を行います。さらにその一部を定期試験に出題することで、応用的な問題の解法を定着させていきます。

定期テスト

定期テスト復習

模擬試験

模擬試験復習



主要五教科の特色

英語 語彙・文法を絶対的な土台とした四技能の育成を目指す

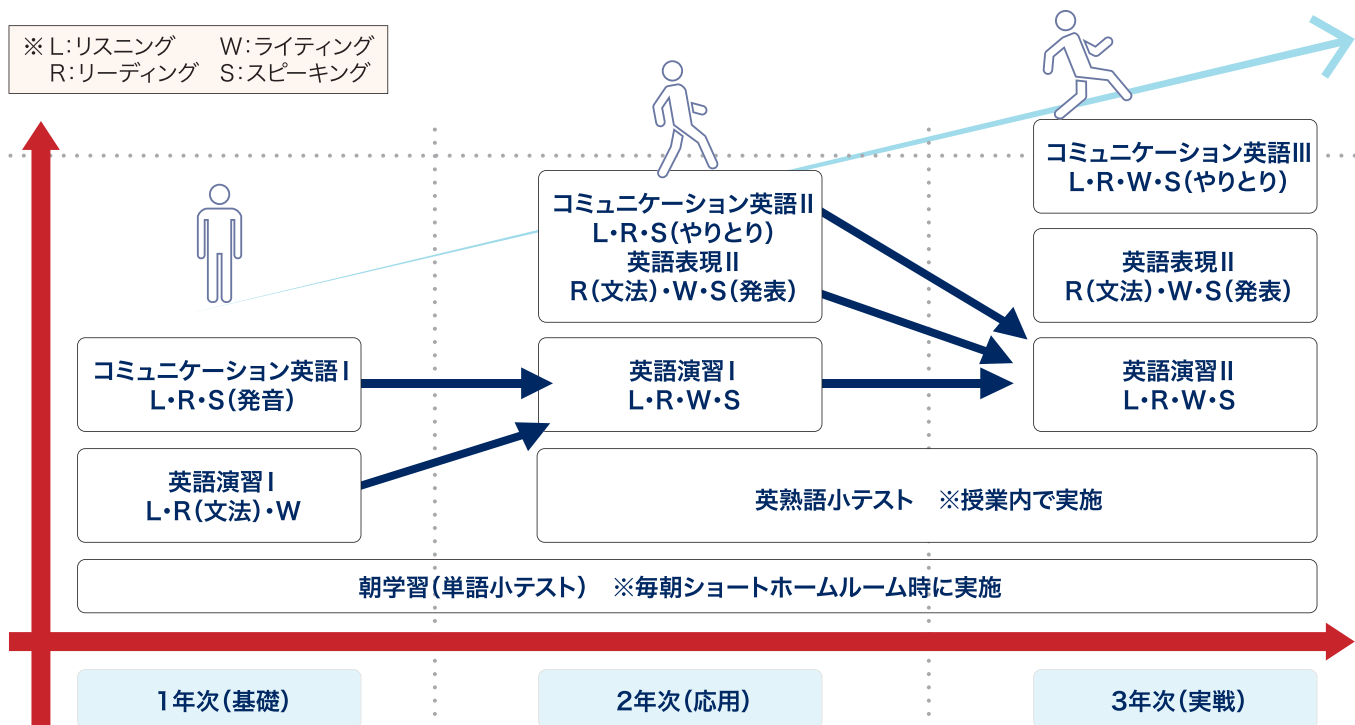
英語学習3つの規準

1 音声学習
～まずは音声から～

2 徹底反復
～「わかる」を「できる」に～

3 客観的評価
～こまめな小テストで理解を「見える化」～

※ L:リスニング W:ライティング
R:リーディング S:スピーキング



1 年次
基礎となる「知識」を身につける

- 《コミュニケーション英語Ⅰ (特選・特進:4単位)
- 次年度のDMM英会話の基本となる「発音」と「会話表現」の学習を行う。
- 教科書英文を利用して、リーディング・リスニングの練習を行う。
- 《英語表現Ⅰ (特選・特進:3単位)
- 中学校で学習した文法の復習を含め、英文法の体系的な学習を行う。

2 年次
身につけた「知識」を応用して英語を聞く・読む・書く・話す

- 《コミュニケーション英語Ⅱ (特選:4単位 特進:6単位)
- 教科書英文を利用して、リーディング・リスニングの練習を行う。
- 入試レベル問題を用了英文解釈の練習を行う。
- DMM英会話を用いてスピーキング(やりとり)の練習を行う。
- 《英語表現Ⅱ (特選・特進:3単位)
- 熟語表現習得のための小テストを行う。英文法の体系的な学習を行う。
- 身につけた単語、熟語、文法を利用して英作文練習を行う。
- 英作文練習で作上げた原稿を基にしたスピーキング(発表)の練習を行う。
- 《英語演習Ⅰ (特選:5単位※ 特進:2単位) ※私立希望者のみ
- 1年次の総復習(教科書本文の音声練習・文法定着のための例文暗唱)

3 年次
入試レベル問題を題材にした実戦練習

- 《コミュニケーション英語Ⅲ (特選・特進:4単位)
- 入試レベル問題の実戦読解練習を行う。
- DMM英会話を用いてスピーキング(やりとり)の練習を行う。
- 《英語表現Ⅱ (特選:3単位 特進:4単位)
- 英作文練習を通して、文法項目の復習とさらなる定着を目指す。
- 英作文練習で作上げた原稿を基にしたスピーキング(発表)の練習を行う。
- 《英語演習Ⅱ (特選:5単位※/特進:2単位) ※私立希望者のみ
- 2年次の総復習(教科書本文の音声練習・文法定着のための例文暗唱)

国語 暗記やテクニックに上積みされる論理的思考力の育成を目指す

国語を学習する理由

我々が夢を見る際、その言語は日本語の人がほとんどではないでしょうか。つまり数学であろうが英語であろうが、我々は日本語で考えているということです。そこで正確に課題文を読み取り、正確に思考し、正確に解答するためにはまず国語の力が不可欠となります。国語の力以上に他教科の成績は上がらないと言ってもいいでしょう。

※単位は1週間の授業時数です

	現代文	古文	漢文
1 年次	特選・特進:3単位 ● 教科書の単元を通してどの文章でも正確に読み取る力を身につけることを目指します。 ● 評論文・小説ともに客観的に読み取る方法を身につけます。	特選・特進:3単位 ● 授業内にて週1回の単語テストを行います。 ● 毎時間の文法テストを行います。 ● 古文体に慣れるために教科書で文法確認をしながら読解を行います。	特選・特進:3単位 ● 漢文訓読、書き下しを一から学び直します。 ● 句形については教科書に出てきたものを、別の問題集にて繰り返し、また補足的に練習します。
	そのために教科書を使用する際にはただ内容を理解するのではなく、どうしてそこが大切になるのか、どうしてそこに着目したのかなどの「どうして」を大切にします。	古文を読解するためには文法事項と古文単語の暗記が必須になります。具体的には1学期で用言を、夏期講習から2学期、冬期講習までで助動詞を、3学期に敬語を学習します。	漢文の授業では教科書に全ての句形が出てきますので、この繰り返しにより定着を図ります。
2 年次(文系)	特選:4単位 特進:3単位 ● 筆者と読者以外の出題者の存在を意識し、求められている解答を作成できるように練習します。 ● 2年生終了時までに難関大学入試に取り組める読解力を養います。	特選・特進:5単位 ● 授業内にて週1回の単語テストを行います。 ● 毎時間の文法テストを行います。 ● 1年次に学んだ文法事項を横断的に使えるように、教科書を中心に、自ら品詞分解、逐語訳に挑戦します。	特選・特進:5単位 ● 一度学んだ句形でも教科書に出てくる度に扱い、反復して学習することによって定着を図ります。 ● 書き下し文、現代語訳、返り点といった模試必須の問題に対応できるよう予習プリントを用いて学習を進めます。
	1年生で身につけた考え方を元に、反復して練習することで真に自らの力とすることを目指します。1年生で学んだことを1人で実践できるようにします。	助詞は受験において重要度の高いものだけをピックアップし、覚えていきます。	漢文の授業では教科書に全ての句形が出てきますので、この繰り返しにより定着を図ります。
3 年次(文系)	特選・特進:4単位	特選・特進:5単位	特選・特進:5単位
	これまでの先取り学習によってできた時間を入試問題を始めとする演習の時間に充て、今まで身につけてきた能力を答案に表現できるようにします。		



▶ **1 年次**

基本事項の習得と数学的発見の喜びを知る

① 思考分析

高校の教科書で新しく習う内容は、できる限り中学で学習したことから拡張する形をとり、生徒自身で発見して高校の内容に踏み込むことができるよう授業を展開していきます。また、その日に学習した内容を定着させるため、問題集で類題や発展問題に挑戦し、生徒自身で説明できるレベルまで到達することを目指します。

② 解答作成技術

論理的に自分の考えが記述できているか、常に意識しながら【解答を書く】という練習をします。数学は、世界共通の言語であり、自分の考えを相手に伝える手段でもあります。思考過程を整理して記述することは、数学に限らず物事を学ぶ上で必要な技術です。これは、授業での解答は勿論のこと、グループでの共同解答作成時でも学ぶことができます。

③ 社会的立場からの検証

日常で使われている数学の内容を追究するため、単元導入の際は、学習内容がより身近に感じられるような授業が行われます。例えば、データの分析では、現在盛んに行われているBigデータの利用内容を紹介し、データサイエンスの価値に触れる機会を設けます。これにより生徒は、社会の問題点を数学的立場で解決する視点を持つことができます。また、社会的課題に対する新しい解決策を、根拠を示して提案することができるようになります。(2年次に行われる総合的な探究の時間においても生徒の学びは拡張されます。)

▶ **2 年次**

各分野で学習した数学的考察力をより深め、横断的に思考することができる

④ 醸成

新しい学習内容の習得は勿論のこと、各単元で学んだ内容を深く掘り下げ、より思考力が必要な問題を1時間ほどかけて1問解く練習をします。また、長期休暇では、コース別の課題や映像の講座でこれまで学習した内容の復習を徹底的に行い、苦手分野の克服に専念します。

⑤ 展開

数学IIBまでの学習内容が完了した時点で、問題を解くときに今まで学習してきた各分野の内容を繋げる発想を意識するよう促し、解答までのアプローチ方法を議論する機会を設けます。考え方を共有し、多面から多種多様な解答方法を模索できるよう常に意見を出し合う環境を整えます。

⑥ 社会的な総合問題に触れる

2年次後半では、各教科で学んできた学習内容に触れながら数学的解析を行う教科横断型の問題にチャレンジします。そのテーマは多種多様で、「消費税率と選挙」、「生物の細胞分裂数」、「漁業資源の持続可能な利用」、「物体に対する光の屈折率」など一見数学とはかけ離れているようにも見える内容ですが、その考察には随所に数学的思考能力が必要となります。生徒は、友人と議論しながら解決策を模索することになり、自分たちが学んでいる内容が社会にどう繋がっているのか感じるすることができます。

▶ **3 年次**

より洗練された数学の解答となるよう吟味することで自ら問題提起し、推測、証明、検討、新たな課題発見というスパイラル形式で数学を探究することができる

⑦ 問題を解く糸口の発見

生徒自身が設定した課題や難問に対して、どうアプローチをしていくか見通しを立てるプロセスを共有します。問題を解くにあたり、どう解決すればよいのか、論理的かつ曖昧な部分がないように解答への道筋を模索する力をつけなければなりません。完全な解答を書く前の準備段階として試行錯誤する時間を大切にします。

⑧ 批判的な見解意識

大学入試問題の演習を行うにあたり、解答の妥当性やアイデアの共有に重きをおき、1つの問題から多くの学びを導きます。また、解答時間を意識した授業を主軸とし、解答へのアプローチ方法の検討を授業の随所に配置します。そして、解答の論理性が破綻していないか、曖昧な部分はないか批判的な視点でチェックし、より精度の高い解答作成を目指します。

⑨ 探究

生徒同士がお互いの解答を見比べ、双方の視点を分析し互いに学び合います。また、生徒たちで問題を作成し、その問題を解き合ったり、ある問題の内容を変更してより一般的な問題へ拡張できないか考えたりするなど、学問の神髄を楽しむハイレベルな姿勢を構築します。生徒たちは、自分の作った問題に対して誇りを持つことになり、全員で作問した問題を解き合います。その後、出題者が問題の解説を行い、その問題の意図する内容もプレゼンします。

▶ **1 年次**

基礎定着期 【必修】化学基礎

- 実験・観察を通して、具体的な内容から自然の原理を理解させ、科学的な概念の定着をはかります。また問題集などを利用して基礎的な計算や思考ができるよう基礎力の充実をはかります。

1 物質の構成	①原子とイオン ②周期表 ③化学結合	2 物質の変化	①原子量・分子量・式量 ②原質量 ③化学反応式	3 酸と塩基	①酸と塩基 ②水の電離とpH ③中和反応と塩	4 酸化還元反応	①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤 ③金属の酸化還元反応
---------	--------------------------	---------	-------------------------------	--------	------------------------------	----------	----------------------------------

▶ **2 年次**

基礎・応用期 【必修】科学と人間生活(文理共通) 理科演習Ⅰ(国立文系) 化学(国立理系・私立理系) 【選択】物理基礎/生物基礎(国立理系・私立理系)

- 化学では1年次の「化学基礎」の学習を踏まえ、さらに詳しく物質の性質や変化を構造や、結合、エネルギーなどに関連付けて理解を深めていきます。また、日常生活や社会に物質の性質がどのように生かされているかを学習します。
- 物理基礎では、基本的な数学計算の方法と能力を身につけ、物体の運動を数式で表現できるとともに、物体にはたらく力を見つけ、運動方程式を立てられるように学習します。また、主な熱現象や電気現象を原子・分子のレベルで説明できるレベルを目指します。
- 生物基礎では、生物の体が細胞でできていることを念頭に、様々な現象を理解し、DNAについての理解を深めます。その後細胞分裂について学び、細胞内での分子の働きをしっかりと学習します。

▶ **3 年次**

応用・完成期 【必修】化学(国立理系) 理科演習Ⅱ(国立文系) 【選択】物理/生物/化学

- 化学では、2学年続き無機化合物、高分子化合物を扱い、日常生活や社会にこれらの物質の性質がどのように生かされているかを理解できるレベルを目指します。また、大学へつながる高度な内容にも触れ、科学の基本概念、原理や法則を「活用する」能力を身につけます。
- 物理では、1学年と2学年で学んだ力学や波動の基礎的な考え方を活用し、問題に取り組みます。そして物理学のもつ多様な側面や各分野のつながりを認識し、大学進学に向けて興味関心を広げていき、実験や課題探究を通して、大学進学後にも通用する表現力を身につけていきます。
- 生物では、現在地球上にみられる多種多様な生物が、誕生後どのような変遷をたどったかを学習します。また、生物の形質が世代を経るにつれて変化していく進化のしくみについて理解を深めていきます。

▶ **1 年次**

基礎定着期 【必修】世界史A 日本史A

- 1年次の「世界史A」「日本史A」では、2年次からの科目選択を見据えて、歴史系科目の入試において出題頻度が高く、また公民系科目においても現代の政治・経済構造の成立過程を学ぶ上での土台となる近現代史の学習を行います。

▶ **2 年次**

応用・発展期 【必修】現代社会 【選択】世界史B 日本史B 政治・経済

- **【必修】**現代社会では、政治・経済はもちろん、世界史B・日本史Bの貨幣・金融などの経済史を理解する上で必要となる、経済分野の学習を行います。
- **【選択】**世界史B・日本史Bでは、先史・古代～近代までの学習を行い、1年次の学習とあわせて、通史完成を目指します。
- **【選択】**政治・経済では政治分野の学習を行い、**【必修】**現代社会の学習とあわせて、政治・経済全範囲の学習を終了させます。

▶ **3 年次**

完成期 【選択】世界史B 日本史B 政治・経済 公民演習

- 発展的な内容を含めた既習知識の定着を図るため、各科目の学習内容を2周・3周と反復することで、「思考力」「判断力」の元となる知識の確実な定着を図ります。
- 既習内容の復習を兼ねて、出題頻度の高い事項について「背景 → 原因 → 結果 → 影響」を100字程度でまとめさせることにより、多面的・多角的な考察と「表現力」の育成を目指します。
- 国公立希望者のみを対象とする**【選択】**公民演習では、経済分野と倫理分野の学習を行い、入試科目の「倫理、政治・経済」・「現代社会」に対応できる知識の定着を目指します。



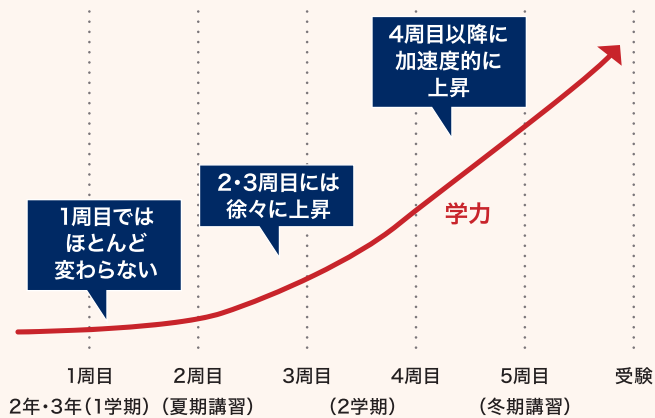
効率的な学習

先取り学習 3年5月までに高校の全範囲を完了!

「先取り学習」といってもいきなり大学入試レベルの難問を解くわけではありません。高校1年次、2年次、3年次それぞれの学年で身に着けるべき学習内容があります。本校では長期休暇講習を利用して無理なく高校3年次の5月※までに高校の履修範囲を完了させ、それ以降は大学入試問題などの問題演習、実践的な問題を解く授業を展開していきます。

通常の公立高校のカリキュラムでは高校3年次の12月に高校の履修範囲が完了しますが、それでは1月から始まる大学入試本番に到底間に合いません。なぜなら、右図のように繰り返し復習をしないと記憶が定着しないからです。そのため、本校では3年次5月※までに高校の全範囲を完了するカリキュラムを採用しているのです。(※特選コースは3年5月、特進コースは7月までに終了)

《「繰り返し」と「学力」の関係》



特選コース

1年の学習内容

2年の学習内容

3年の学習内容

入試対策

3年生5月までに3年間の学習内容を終了

特進コース

1年の学習内容

2年の学習内容

3年の学習内容

入試対策

3年生7月までに3年間の学習内容を終了

1年次

2年次

3年次

入試本番

演習授業 忘れる量<覚える量



《英語演習(特進コースの例)》

	コミュニケーション英語	英語表現	英語演習
1年	コミュニケーション英語Ⅰ コ英語Ⅰ:読解中心 発音トレーニング:発音練習	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅰ:文法学習中心 映像授業テキスト	
2年	コミュニケーション英語Ⅱ コ英語Ⅱ:読解中心 英文解釈問題集:精読中心	英語表現Ⅱ 英語表現Ⅱ:文法学習中心 映像授業テキスト	英語演習Ⅰ 英語表現Ⅰ: 例文暗記→英作文で活用 コミュニケーション英語Ⅰ: 読解問題+音読徹底
3年	コミュニケーション英語Ⅲ コ英語Ⅲ:読解中心 長文読解問題集:入試対策	英語表現Ⅱ 英作文問題集 映像授業テキスト	英語演習Ⅱ 英語表現Ⅰ: 例文暗記→英作文で活用 コミュニケーション英語Ⅱ: 読解問題+音読徹底

本校では高校2年次以降、演習授業を展開しています。勉強において「復習が大事」と頭で理解していてもなかなか日々の課題や授業に追われ、自主的に、また、計画的に既習内容を復習するのは難しいのではないのでしょうか。そこで高校2年次以降、主要3科目を中心に「演習授業」が設定されています。この授業では前年度に学習した知識を模試や入試の形式で出されたときに活用できるかを重視しています。新しいことを覚えるのではなく、一度覚えたことをもう一度「思い出す」、「この思い出す」という行為によってより記憶が定着し、受験本番でも「使える」知識が身に付きます。また、模試や入試に即した授業展開なので、受験に慣れることも可能です。

DMM英会話 新大学入試に対応するために



《楽しく学べるDMM英会話テキスト例》

- 英検予想問題ドリル(準1級～5級)
- 英検二次試験・面接予想問題(準1級～3級)
- マーフィーのケンブリッジ英文法(初～中級編)
- バーダマン先生のリアルな英会話フレーズ
- 4コマ漫画で体感するから身につく
ほんとに使えるリアルな英語フレーズ
- 日本のことを英語で話そう
- 洗練された会話のための英語表現集
- 働く女性の英語術
- シーン別 本当に使える 実践ビジネス英会話
- おかわり! スラスラ話すための瞬間英作文トレーニング
- おかわり! ポンポン話すための
瞬間英作文シャフルトレーニング
- TOEFL iBTスピーキング(基礎～上級編)

DMM英会話ではSkypeを利用してネイティブの先生と1:1の英会話レッスンをオンラインでいつでもどこでも受講することが可能です。スマートフォン・タブレット・PCなどの端末があれば英会話学校に行かなくても、25分というすきま時間で英語のレッスンができます。

センター入試が廃止され、新大学入試がいよいよ開始されますが、英語の試験では従来のReading、Listening、Writingだけでなく、これまで実施されてこなかったSpeakingも加わりの四技能すべてが試験内容となります。一朝一夕に英語が話せるようになるわけではないので、特に早めにSpeaking対策が必要となってくるのです。DMM英会話は24時間、365日いつでもどこでも自分の好きな時間、場所で1レッスン25分から英会話の練習ができるのが特徴です。授業や部活などで忙しい、時間に制約の多い生徒でも有効に活用できるのがメリットです。

映像授業 いつでもどこでも何度でも



通常の授業では先生が言っていたことを聞き逃すともう二度と聞くことができませんが、映像授業では自分が納得できるまで何度も映像を見返したり、理解できていないところはスローモーションで見たりすることができます。逆に自分の得意な内容やすでに授業で習ったことは早送りや倍速で視聴することもでき、映像授業を自分の思い通りにアレンジし放題です。

さらに本校では映像授業を通常授業でも取り扱い、教科担当の先生の指示で講義を視聴、宿題や確認テストを行うなどして映像授業だけを「見っぱなし」にすることがないように、映像授業の恩恵を最大限に受けられるような環境が充実しています。さらに3年次では個人の志望校に合わせて「英語難関大対策」「古文難関大対策」などの上位大学に通ずる講座も充実し、授業と合わせて利用することで、入試分析も万全です。

映像授業と通常授業を連動させることで、映像授業の弱点でもある「見て満足」「見てわかった気になる」という点をカバーすることができます。例えば導入の1時間目は次の通常授業で実施する内容を映像授業を35分間視聴することで予習、残りの10分を問題演習に当てます。2時間目は通常授業ですが、映像授業であらかじめ内容を予習しているので先生の説明する時間は10分に短縮できます。その分の余った時間は普段なかなか授業中に扱うことのできない問題演習に使えるので知識が定着しやすくなります。また、通常授業を最初に行い、その次の時間に映像授業でもう一度同じ内容を見返すということもできます。同じ内容を近いスパンで繰り返し行うことによって、やはり知識の定着に繋がるのです。





特進コース Ⅰ類・Ⅱ類

長期休暇講習 必修



目標大学

- Ⅰ類
- ◆成成明学獨國武レベル
- Ⅱ類
- ◆日東駒専レベル

一般入試で難関私立大学合格を目指すコースです。1年次では大学入試に向けた主要教科の基礎強化を実施、映像授業を利用し、「映像授業→通常授業→確認テスト→定期テスト」と既習内容を短期的に繰り返す仕組みができていますので、記憶を効率よく定着させることができます。2年への進級時に文系理系の選択があるので、文系の生徒は英・国・社、理系選択の生徒は英・数・理と私立大学受験に必要な教科に絞って学習を進めていくことができます。また、演習授業の導入により前年度の内容を復習しながら、新しい内容も学習していくので、模擬試験に必要な不可欠な応用力が養われ、偏差値UPが期待できます。そして、特進コースも特選コースと同様に3年次7月には高校の授業内容をすべて完了し、3年次夏以降は演習授業、過去問対策を中心に授業を展開し、志望校合格への道を確実なものとしていきます。

カリキュラム

※一部変更になる場合があります。

1年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
	必修																																			
	国語総合						世界史 A			日本史 A			数学I			数学A			化学 基礎		コミュニケーション 英語I			英語 表現I		家庭 基礎		音楽I 美術I		体育		保健		総合学 習		L・R

2年 文系	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
	必修															選択A					選択B			選択C			選択D					必修				
	現代 社会		科学と 人間生活			コミュニケーション 英語Ⅱ					英語表現Ⅱ			英語 演習Ⅰ		古典B					現代文B			国語 演習Ⅰ		世界史B 日本史B 政治経済			体育			保健		総合 学習		L ・ R
2年 理系	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
	必修															選択A					選択B			選択C			選択D					必修				
	現代 社会		科学と 人間生活			コミュニケーション 英語Ⅱ					英語表現Ⅱ			英語 演習Ⅰ		数学Ⅱ					数学B			数学 演習Ⅰ		物理基礎 生物基礎 化学			体育			保健		総合 学習		L ・ R

3年 文系	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
	必修											選択A					選択B					選択C					必修								
	コミュニケーション 英語Ⅲ				英語表現Ⅱ				英語演習Ⅱ			古典B					現代文B			国語 演習Ⅱ		世界史B 日本史B 政治経済				社会と 情報		体育		総合 学習	L・R				
3年 理系	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
	必修											選択A					選択B					選択C					必修								
	コミュニケーション 英語Ⅲ				英語表現Ⅱ				英語演習Ⅱ			数学演習Ⅱ					数学Ⅲ 数学ⅡB			物理 生物 化学				社会と 情報		体育		総合 学習	L・R						



高大連携プログラムの充実

高大連携プログラムとは高校生が大学の講義を受講することによって、学習意欲を向上させ、目的意識を明確にするための取り組みです。これによって生徒は将来進みたい学部学科のことを大学に入学する前から知ることができ、進路の決定や入試へのモチベーション維持になると期待されています。多くの大学に協力していただき、本校においては今年度より大学の教授方を招き、高校生向けに専門分野の授業をしてもらうなど、土曜の通常授業がない時に希望者に対して講義を実施しています。

特進コースの生徒は複数の大学が行う講座を受講できるようになりました。4月から9月までを前期、10月から3月までを後期として、生徒が好きな講義を選択して申し込むことができます。

このプログラムにより、本校の総合的学習の時間における取り組みとも連動することになります。教科や科目にとらわれることなく、ひとつとは限らない正解に向かって検証や調査を経て自分の答えを導き出すことはもちろん、その過程や答えの出し方にも多種多様な考え方があることを知ります。そうすることで、今後ますます必要とされてくる、①自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する力②問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組み、他者と協力する能力、これらの社会に適應する能力を養っていきます。

→P16参照



入試に特化したカリキュラム

特進コースでは2年次より文理選択を行い、希望の進路実現へ向けて多くの選択授業を用意しています。文系は英国社、理系は英数理の受験に必要な授業の時間数を特に充実させています。部活動でも2年生はその中心となりますので、文武両道の実現のために学習効率をさらに重視しているのです。国立文系、私立文系、国立理系、私立理系では入試に必要な科目がそれぞれ違います。授業数が多いことに加え、主要科目では演習授業も実施されるため、過去問演習、類題演習を通して、前年度の既習内容を無理なく、自らの希望進路に合わせて授業選択が可能になり、無駄なく効率的に復習することができます。

県立A高校との 受験科目率の比較	受験科目率	浦和麗明高校		県立A高校	
		2年生	3年生	2年生	3年生
	文系	86%	86%	50～70%	50～80%
	理系	100%	100%		

受験科目率とは
「受験科目の授業数÷5教科の授業数×100」で計算したもので、カリキュラムの効率の良さが分かります。



コース・類型変更可能なシステム

本校では生徒のあらゆる可能性や進路を考えて、1年次のカリキュラムはコース・類型関係なくすべて統一しています。したがって、所属するコース・類型については進級時に変更することも可能になっています。「高校に入学して一年間しっかり勉強し、成績が上がったので2年生から上のコース、もしくは類型で頑張りたい。」「2年生の途中までは私立の四年制大学に行ければよいと思っていたけれども、勉強していくうちにやはり1ランク上の私立大学に志望変更したいと考えるようになったので、3年生からは特選コースで頑張りたい。」など進級時に1つ上のコースに挑戦することが可能になっています。(校内審査あり)

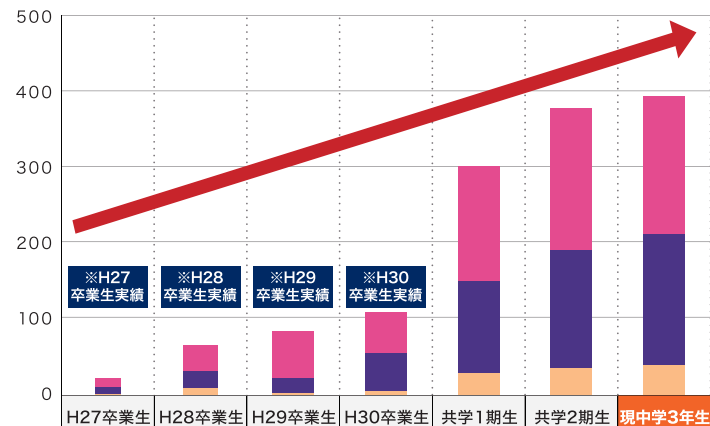


進路指導



「率」から「質」へ
進学意識改革進行中

《 大学合格実績と目標値 》



《 平成30年度大学合格実績 》

- 埼玉大学
- 群馬県立女子大学
- 埼玉県立大学
- 滋賀大学
- 明治大学
- 立教大学 2
- 中央大学 8
- 法政大学
- 日本女子大学 5
- 東京薬科大学 5
- 順天堂大学
- 東京農業大学
- 神田外語大学
- 國學院大學 4
- 獨協大学 17
- 成城大学
- 埼玉医科大学 4
- 東洋大学 6
- 日本大学 2
- 文教大学 4
- 帝京大学 9
- 大東文化大学 2
- 亜細亜大学
- 国士舘大学 10
- 東京家政大学 4
- 東京電機大学
- 大正大学 2
- 女子栄養大学 5
- 清泉女子大学 2
- 杏林大学 2
- 他多数

POINT 進学は自己探求の上に成立する

本校の進路指導は探求学習のベースの上に将来を見据えるキャリア教育であると考えています。それは高校3年間が、生徒たちの進路選択において、初めての大きな岐路に直面する期間であるからです。そこで数多くの大学、多くの分野の中からどのような道を選ぶかによって、生徒一人ひとりが潜在的に持っている興味や関心、希望を引き出し、視野を広げることができるように様々なプログラムを用意しています。また自身の適性を客観的に把握する機会もたくさん準備しています。

1年次

🎓 基礎学力を定着させながら
「得意分野」や「適性」を発見

進路サポート

- 二者面談・三者面談
- 進路講演会
- キャリアアップセミナー
- ※ 校内大学講義受講
- ※ 校内大学相談会

学習サポート

- 全国模試
- 長期休暇講習
- 医療・看護系模試
- 予備校講習
- 高大連携プログラム
- 放課後講習(選択制)

2年次

🎓 目標達成に向けて
「合格力」を磨き上げる

進路サポート

- 二者面談・三者面談
- 進路講演会
- 保護者対象進路講演会
- キャリアアップセミナー
- オープンキャンパス
- 参加レポート

学習サポート

- 全国模試
- 長期休暇講習
- 医療・看護系模試
- 予備校講習
- 高大連携プログラム
- 放課後講習(選択制)

教科指導と密接に
連携する進路指導

学習指導

知識を蓄える

- 各教科指導
- 通常授業と映像授業のリンク
- オンライン1 to 1 英会話
- 「演習授業」で復習強化



浦和麗明ネットワーク

進路サポート

将来の方向性を見据える

- 二者面談(年間3回)
- キャリアアップセミナー(進路選択イベント)
- 進路講演会
- 校内進学相談会(大学との個別相談会)
- 総合的な学習の時間「プレゼンテーションコンクール」「ポスターセッション」

特別プログラム

《 特選コース 》

- 予備校講習(土曜日)
- ※有名予備校の講師によるオリジナルテキストを使用しての模擬試験対策。



《 特進コース 》

- 高大連携プログラム(土曜日)※自由選択制

※それぞれの学問ごとに大学教授の講義を受講できます。与えられた課題に対して熟考し、時間をかけて答えを出していきます。

文系					理系						栄養学系		医・薬学系				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
文学	語学	経営学	観光経営学	スポーツトレーナー学	幼児教育学	機械工学	生命科学	理学	応用生物学	食物環境学	健康栄養学	栄養学	薬学	薬化学	医療情報学	患者心理学	臨床工学

POINT 新システム導入で生徒が「自立」

学習支援クラウドサービス「Classi」を利用し、生徒が各自のスケジュールや学習時間を管理できます。その学習や学校活動を記録することで、学習の「自立」と大学入試改革で新たに必要となった「進路実現のためのポートフォリオ形成」を促進します。また記録したデータを教員と共有し「可視化」します。日々の指導や面談等でのアドバイス、学校全体で新しい入試制度に対応した進路指導を実施しています。さらに保護者のモバイル端末やPCでも利用することができ、学校との連絡や相談などを気兼ねなく行うことができます。

3年次

🎓 進路目標に対応したきめの細かい対策で
一人ひとりの希望をアシスト

進路サポート

- 二者面談、三者面談
- 校内進学相談会
- 保護者対象進路講演会
- 進路集会
- オープンキャンパス参加

学習サポート

- 全国模試
- 長期休暇講習
- 医療・看護系セミナー
- 医療・看護系模試
- 高大連携プログラム
- 放課後講習(選択制)
- Z会放課後講習
- ※ 特選国立希望者
- 早稲田大学対策講座
- ※ 特選I類
- GMARCH対策講座
- ※ 特選II・III類





「総合的な探求の時間」



ターミネーターとドラえもん

「Artificial Intelligence(人工知能・AI)」という言葉が初めて使われたのは1956年。実は、歴史が長いのです。同年、アメリカのダートマス大学で行われた通称「ダートマス会議」において、人工知能という言葉が提案され、これを機に政府や大企業が、人工知能の研究者たちに莫大な資金を注ぎ込む大きなムーブメントが起きました。

この研究者たちが目指したのは、人間と同じような複雑な思考ができるコンピューターを作ること、分かりやすく言うと「ターミネーター」や「ドラえもん」を作ることを目指していたのです。

ご存知の通り、「ターミネーター」や「ドラえもん」は現実には存在しませんが、特定の決まった作業のみ行うAIは、現在の世の中に普及しています。そして、AIが人間の仕事をすべて奪ってしまうような未来は来なさそうですが、人間の仕事の多くがAIに代替される社会は、すぐそこまで迫っているのです。

そのような未来が予測される中、以下のような仕事はAIによる代替可能性が低い職業として考えられています。

《 AIに代替される可能性が低い職業 》

- | | | | | |
|-----------------|--------------|----------------|---------------|------------------|
| ● アートディレクター | ● 芸能マネージャー | ● 社会福祉施設指導員 | ● ツアーコンダクター | ● フリーライター |
| ● アウトドアインストラクター | ● ゲームクリエイター | ● 獣医師 | ● ディスクジョッキー | ● プロデューサー |
| ● アナウンサー | ● 外科医 | ● 柔道整復師 | ● ディスプレイデザイナー | ● ペンション経営者 |
| ● アロマセラピスト | ● 言語聴覚士 | ● ジュエリーデザイナー | ● デスク | ● 保育士 |
| ● 犬訓練士 | ● 工業デザイナー | ● 小学校教員 | ● テレビカメラマン | ● 放送記者 |
| ● 医療ソーシャルワーカー | ● 広告ディレクター | ● 商業カメラマン | ● テレビタレント | ● 放送ディレクター |
| ● インテリアコーディネーター | ● 国際協力専門家 | ● 小児科医 | ● 図書編集者 | ● 報道カメラマン |
| ● インテリアデザイナー | ● コピーライター | ● 商品開発部員 | ● 内科医 | ● 法務教官 |
| ● 映画カメラマン | ● 作業療法士 | ● 助産師 | ● 日本語教師 | ● マーケティング・リサーチャー |
| ● 映画監督 | ● 作詞家 | ● 心理学研究者 | ● ネイル・アーティスト | ● 漫画家 |
| ● エコノミスト | ● 作曲家 | ● 人類学者 | ● パーティンダー | ● ミュージシャン |
| ● 音楽教室講師 | ● 雑誌編集者 | ● スタイリスト | ● 俳優 | ● メイクアップアーティスト |
| ● 学芸員 | ● 産業カウンセラー | ● スポーツインストラクター | ● はり師・きゅう師 | ● 言・ろう・養護学校教員 |
| ● 学校カウンセラー | ● 産婦人科医 | ● スポーツライター | ● 美容師 | ● 幼稚園教員 |
| ● 観光バスガイド | ● 歯科医師 | ● 声楽家 | ● 評論家 | ● 理学療法士 |
| ● 教育カウンセラー | ● 児童厚生員 | ● ソムリエ | ● ファッションデザイナー | ● 料理研究家 |
| ● クラシック演奏家 | ● シナリオライター | ● 精神科医 | ● フードコーディネーター | ● 旅行会社カウンター係 |
| ● グラフィックデザイナー | ● 社会学研究者 | ● ソムリエ | ● 大学・短期大学教員 | ● レコードプロデューサー |
| ● ケアマネージャー | ● 社会教育主事 | ● 大学・短期大学教員 | ● 中学校教員 | ● レストラン支配人 |
| ● 経営コンサルタント | ● 社会福祉施設介護職員 | ● 中学校教員 | ● フラワーデザイナー | ● 録音エンジニア |



このような仕事に共通している特徴は

- ① 高いコミュニケーション能力や理解力が求められる仕事
- ② 人間らしい柔軟性や判断力が要求される仕事
- ③ フレームに囚われない発想力が要求される仕事

本校「総合的な探求の時間」では、3年間の学習計画に従い、グループワークや映像の視聴、ロールプレイングを中心とした授業を展開し、AIに代替されない、人間のみが持ちあわせる「自ら考えて価値を生み出す力」を身につけることを目指します。

1年生の取り組み

1学期 文理選択のための職業選択

2学期 校内インターンシップ

3学期 プレゼンテーション&労働と生活設計

「世の中で働く」

1年生では「世の中で働く」ことをテーマに、映像の視聴や校内インターンシップを通じて、グループで協働し、主に人間らしい柔軟性や判断力を養います。

教育と探求社の教材「クエストエデュケーション 企業探求コース」を活用し、実在する8つの企業の中からインターン先企業を選択し、各チームに分かれて企業からの課題を受け取ります。その課題に対する答えとなる企画を、ブレインストーミング(グループでアイデアを創出するための話し合い)や中間報告を繰り返し、ブラッシュアップしていきます。

チームで捻り出した企画をクラス内でプレゼンし、その後、クラスで1番優秀なプレゼンをしたチームを集め、「第1学年プレゼンテーションコンクール」を開催し、グランプリを決めます。



「クエストカップ2019全国大会」※に出場

「第1学年プレゼンテーションコンクール」で上位入賞を果たした「チーム大和」が、全国大会に出場しました。

※「クエストエデュケーション 企業探求コース」に取り組む全国140校・約25000人の小中高生より、エントリーした約2800チームの中から選ばれた80チームが、社会に向けて自分たちの学びの成果を発表する場です。



全国大会でのプレゼンでは、持ったマイクが震え、頭が真っ白になるほど緊張しました…。これからも、自分が思ったことを臆することなく発言していこうと思います。

秋山 由莉 さん
(川口市立幸幸中学校)



AIとは違い、人間には「創造力」があるとされますが、「考える」ことを繰り返すことでしか、この力は鍛えられないことを実感しました。「考える」ことを面倒臭がらず、大切にしようと思います。

加藤 綾乃 さん
(飯能市立飯能西中学校)



プレゼンは内容も大切ですが、「これが絶対に必要なんだ!!」という思いを相手に伝えようとする気持ちが、一番大事なんだと感じることができました。

平野 華 さん
(さいたま市立泰平中学校)



チームのメンバーの長所を認め合い、お互いが得意なことで力を発揮すると、1人で取り組むよりも素晴らしいものが出来上がることを経験できました。

渡辺 つぐみ さん
(さいたま市立片柳中学校)

2年生の取り組み

1学期 世の中を知る/身近な「困りごと」を題材とした課題解決学習

2学期 ポスターセッション/「さいたま市」を題材とした課題解決学習

3学期 プレゼンテーション/修学旅行事前学習



「世の中を知る」

2年生では「世の中を知る」ことをテーマに、まず、映像を通じて食糧問題や環境問題、民族問題などの世界的な問題を学び、グローバルな視点から世の中ではどのような問題が起きているのかを学びます。

その後、視点を身近な「困りごと」に向け、その課題と解決方法をポスター1枚にまとめて発表します。

さらに、視点を学校の所在地である「さいたま市」に広げ、さいたま市が抱える課題を発見し、その解決方法をプレゼンします。

「課題」は常に与えられるものではなく、自ら見つけなければならないものでもあります。身近な「困りごと」や「さいたま市」の課題を自ら発見・分析し、解決に向けた提案をするというプロセスを通して、既存のフレームに囚われない発想力を養います。

3年生の取り組み

1学期 起こりうる未来について考える/ニュース時事能力検定

2学期 ニュース時事能力検定

「世の中に関わる」

3年生では「世の中に関わる」ことをテーマに、まず、「シナリオプランニング」という手法を用いて、「未来」について考えます。漠然と「今後、何が起こりうるのか」と考えるのではなく、複数の異なる「未来」の可能性を探ることで、生徒の「未来」に対する理解を深め、不確実な環境変化へ適切な適応策を考えます。

その後、「未来」に大きく影響を与える「現在」について、「ニュース時事能力検定」のテキストを活用し、新聞やテレビのニュース報道を多角的・公正に理解し、課題解決のために必要な知識や判断力を養います。



CLUB ACTIVITIES



【運動部】

- ① 野球部(男子)
- ② サッカー部(男子)
- ③ テニス部(男女)
- ④ バスケットボール部(男女)
- ⑤ バレーボール部(男女)

- ⑥ ソフトボール部(女子)
- ⑦ ハンドボール部(男女)
- ⑧ バドミントン部(男女)
- ⑨ チアダンス&バトン部(女子)
- 卓球部(男女)

【文化部】

- ⑩ 軽音楽部
- ⑪ 茶道部
- ⑫ イラスト部
- ⑬ 吹奏楽部
- ⑭ 箏曲部
- ⑮ 華道部
- ⑯ 合唱部
- ⑰ 書道部
- 演劇部
- 美術部
- ワークプロ部

【同好会】

- ダンス同好会
- 陸上同好会
- 理数研究会
- 調理同好会

部活動の実績

〈女子テニス部〉

◎シングルス

- 平成31年度 関東大会出場(県 優勝)
- 平成30年度 全国選抜テニス大会出場
インターハイ出場
- 平成30年度 オリンピック有望選手認定
- 平成29年度 インターハイ準優勝
関東大会優勝

◎ダブルス

- 平成31年度 関東大会出場(県 優勝)

◎団体

- 平成31年度 関東大会出場(県 優勝)
- 平成30年度 全国選抜テニス大会出場
インターハイ出場
- 関東大会出場(県 優勝)
- 平成29年度 関東大会出場(県優勝)

〈男子テニス部〉

◎シングルス

- MUFGジュニアテニストーナメント2019
3位(全国大会)
- MUFGジュニアテニストーナメント2018
ベスト16(全国大会)

◎ダブルス

- 平成31年度 関東大会埼玉県予選3位

◎団体

- 平成31年度 関東大会埼玉県予選5位

〈チアダンス&バトン部〉

- 第46回バトントワーリング全国大会
ポンポン編成 金賞 ※4年連続金賞受賞
- 第53回バトントワーリング関東大会
ポンポン編成 金賞・千葉県教育長賞
- ジャパンカップ2018全国大会
高校団体ポンポン編成 3位

〈野球部〉

- 平成31年度
春季高等学校野球大会埼玉県大会出場

〈女子バドミントン部〉

- 平成31年度 関東大会埼玉県予選 団体6位
- 平成30年度 関東大会埼玉県予選 団体6位



スクールカレンダー

季節ごとのイベントからたくさんの思い出が生まれる

4
Apr

- 入学式
- 始業式
- 新入生
オリエンテーション



入学式



新入生オリエンテーション

10
Oct

- 進路イベント
- 中間考査
- 生徒会役員選挙



ブリティッシュヒルズ語学研修



ニュージーランド修学旅行

5
May

- 生徒総会
- 保護者会総会
- 球技大会
- 中間考査

7
Jul

- 期末考査
- 進路イベント
- 終業式
- 夏期進路セミナー
- 夏期講習 (I・II期)



長期休暇講習

11
Nov

- ブリティッシュ
ヒルズ語学研修
- 進路イベント

1
Jan

- 始業式
- プレゼンテーション
コンクール (2年生)

6
Jun

- 三者面談
- 芸術鑑賞会 (3年生)



球技大会

8
Aug

- 夏期講習 (III・IV期)



体育祭

9
Sep

- 始業式
- 文化祭
- 体育祭



文化祭

3
Mar

- 卒業式
- 学年末考査
- 進路イベント
- 終了式
- 春季講習



制服

冬
服

正装
School Uniform



カーディガン
Uniform Cardigan



ジャケット
Uniform Jacket



夏
服

正装
School Uniform



オプション
Uniform Option



カーディガン
Uniform Cardigan



EAST BOY

ブランドは高校生に人気のイーストボーイ。夏服と冬服はもちろん、オプションで自分らしい着こなしが可能です。



2019年度 校内イベント日程 ※ご予約は全てHPからとなります。ご来校の際は、上履き、スリッパをご持参ください。

オープンスクール

- 8/3[±]・8/24[±] 事前予約制:開催日の3日前まで
 ●当日参加の希望者のみ ●受付9:00~/講座体験9:30~/個別相談11:00~

学校説明会

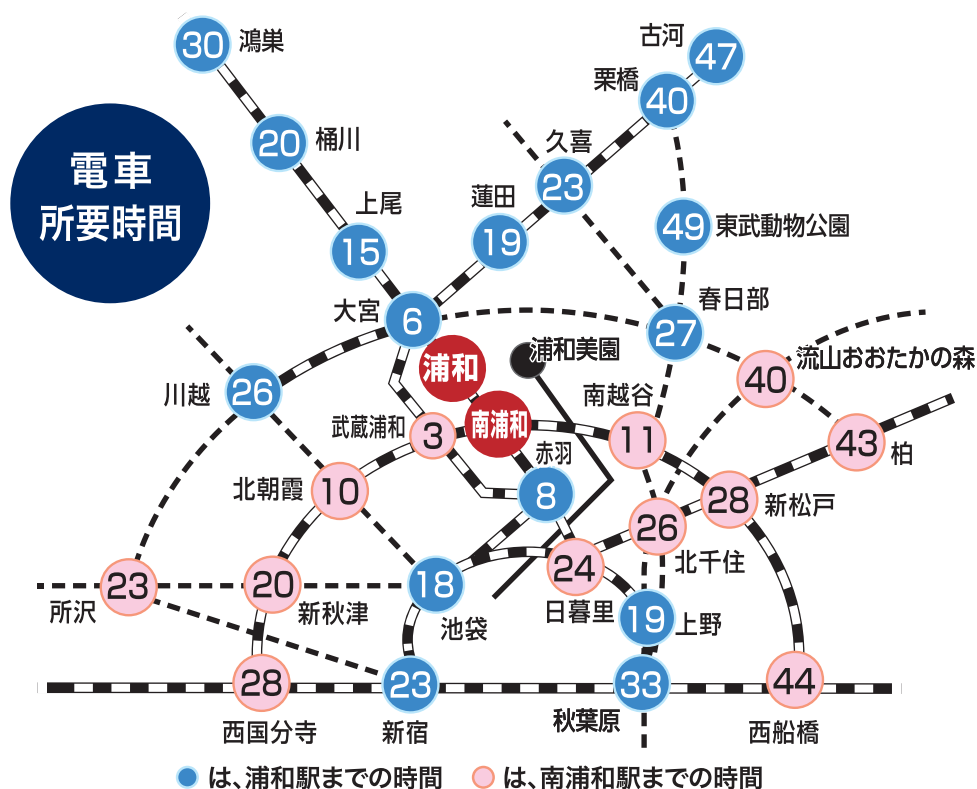
- 8/31[±] 予約不要
 9/14[±]・9/21[±] ただし、説明会後の
 10/12[±]・10/19[±] 個別相談は予約優先
 11/16[±] ●受付9:30~/説明会9:30~/
 12/14[±] 個別相談10:30~

個別相談会 事前予約制

- 10/26[±] 9:00~13:00
 11/23[±]・11/30[±] 9:00~13:00
 12/21[±] 9:00~13:00
 12/24^火 14:00~
 12/25^水 9:00~13:00

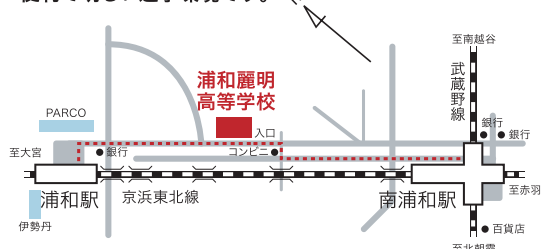
文化祭

- 9/8^日
 ●一般公開 10:00~15:00(当日希望者のみ個別相談あり)
 ※詳しくはHPをご覧ください。



通学道路MAP

- JR浦和駅東口徒歩8分 ●JR南浦和駅東口徒歩10分
 便利で明るい通学環境です。



グランドアクセスMAP

- JR東浦和駅東口徒歩3分

